

# 小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	25	施策名	雇用の創出	
小施策コード	25-3	小施策名	勤労者福祉の充実	
小施策 主管課等コード	135000	小施策 主管課等名	経済企画課	
評価責任者名	小原 勝博		内線番号	3710
評価シート作成者名	高橋 博文		内線番号	3711

## Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率	↑	倍	0.94	1.13	1.19	1.00	1.00
盛岡公共職業安定所管内の就職率*	↑	%	37.4	37.6	38.1	40.0	42.5

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

\* 就職率＝就職件数÷新規求職申込件数

## Step 2 小施策の全体像

小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

対象（誰（何）を対象として行うのか）	意図（対象をどのようにしたいのか）
中小企業の従業員	働きやすくなる。
現状と課題	事業所数の減少や従業員数の縮減などにより、勤労者の生活が不安定になりつつあり、ワークライフバランスの実現や勤労者の福祉向上と生活の安定を図るため、勤労者に対する融資制度や中小企業勤労者への福利厚生事業などの支援が求められている。
取組の方向性	勤労者が安全かつ安心して働くことができるように、労働環境や勤労者福祉の向上を促進する。

### Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
盛岡市勤労者福祉サービスセンター会員数	↑	人	4,055	3,972	3,891	4,100	4,100

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

### Step 4 市民ニーズの把握

盛岡市勤労者福祉サービスセンターによる「勤労者の福利厚生事業の支援」が平成28年度実績で延べ2,710事業所に利用されており，市内中小企業の勤労者のニーズがあるものと判断する。

### Step 5 役割分担分析

#### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	勤労者福祉施設の運営と勤労者融資制度の実施を行う。	40
	国・県・ 他自治体	共同して勤労者福祉施設を運営する。	20
	市民・ NPO		
	企業・ その他	勤労者福祉施設の利用を促進させる。勤労者福祉サービスセンターの支援により福利厚生を充実させる。	40

#### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

(理由)

各主体がそれぞれの役割を果たしていくことにより問題解決に繋がるものであり，市の役割の比重が拡大したり縮小するものではない。

## Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

### 1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

- 盛岡市勤労者福祉サービスセンターの会員数については、加入促進員の訪問や、周知PRをさらに拡大する。
- 勤労者融資制度については、貸付利率の引き下げの検討や、制度を取り扱っている東北労金の窓口での案内強化などの周知PRを行う。

### 2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済、B：平成29年度に着手（予定含む）、C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組（予定）内容	状況
盛岡市勤労者福祉サービスセンターの会員数については、加入促進員の訪問や、周知PRをさらに拡大する。	ラジオCMやテレビCMによる周知活動の強化と会員対象年齢の引き上げによる会員拡大を図った。	A
勤労者融資制度については、貸付利率の引き下げの検討や、制度を取り扱っている東北労金の窓口での案内強化などの周知PRを行う。	貸付利率について、プロパー融資等の利率等も参考としながら引き下げを検討する。また広報もりおか等での周知や東北労金の窓口での案内強化などにより制度の周知PRを行う。	B

### 3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

## Step 7 成果・問題点の把握

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

盛岡市勤労者福祉サービスセンターによる「勤労者の福利厚生事業の支援」が、平成28年度実績で延べ2,710事業所に利用されており、中小企業勤労者の福祉向上に寄与している。

#### (2) 成果をあげた要因

ラジオCMやテレビCMによる周知活動や会員対象年齢の引き上げにより成果が得られているものと考えられる。

#### (3) さらなる成果向上に向けた課題（課題がある場合に記載）

盛岡市勤労者福祉サービスセンター会員数の拡大に向け、より一層の周知を図る必要がある。

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

勤労者融資制度の新規貸付件数（融資実績）が伸び悩んでいる。

**(2) 現状の問題点が生じている原因**

制度の周知が十分でない。

**(3) 分析した原因の解決に向けた課題**

広報もりおか等の活用や東北労金の窓口での案内強化などにより制度の周知PRを行う。

**Step 8 小施策と構成事業の関係性**

**1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業**

該当事業なし。

**2 1で記載した事業についてその理由**

**3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）**

**Step 9 Step7, 8を踏まえた改革改善案**

盛岡市勤労者福祉サービスセンターや東北労金の窓口で制度紹介のチラシの配架を依頼するとともに、広報及びホームページによる制度の周知を図る。